



北栄町が製作を進めていた『マンガあひるの偉人 豊田太蔵』が完成し、3月18日、発刊されました。元になつたのは、同窓会が創立110周年事業として発行した『小説ばんとう』（松本薫さん著）です。母校の美術部員も製作にかかわり大きな役割を果たしました。2千部（非売品）発行し、北栄町内の小中学生をはじめ母校や公共施設などへ配布。私財を投げ打ち若者の教育に一生をささげた母校創設者、豊田太蔵先生の偉業を後世に伝え、地域社会の発展に役立てられます。

漫画本『豊田太蔵』完成

No. 54



晩登會報

鳥取中央育英高校同窓会報

題字は山田美鈴氏（S58年卒）

2022年4月1日
発行：同窓会編集委員会
電話 0858-37-3211

後輩へ思いをつなぐ

同窓会長 佐伯 健二



後輩たちの眼差しがまぶしく、頼もしく感じました。2月28日、卒業式前日に開催された同窓会入会式でのこと。私は壇上から「(生徒諸君は) これまで応援される側だったが、卒業すれば、これからは応援する側に立つのだ」と話しました。卒業生はハッとした表情で一斉にこちらを向き、視線が合いました。同窓会の役割、同窓生の心得を分かってくれたようです。

3面を見てください。同窓会に仲間入りした後輩たちが「先輩の色々な話を聞いて、視野を広く持ちたい。(集まりの) 案内が届いたら、ぜひ参加したい」「育英の歴史や過去を知りたい」など同窓会への期待や要望を書いてくれています。

今年の卒業生は144名。私たちの

時代は360~370名もいたので、なんとなく寂しい気持ちもしますが、10面、11面を見ると、後輩たちは現在の環境の中で、勉強に、部活に、しっかり励んできたことが見て取れます。

わが同窓会の絆や母校を思う気持ちは、他校の人たちが驚くほど強いものがあります。今回の同窓会報でも誰かが書いておられました。「育英繋がりが凄い」と。育英とともに過ごした友達や先生に感謝し、何かお返しがしたいと思っている同窓生が多いことは、大きな誇りです。

この気持ちを今春卒業した後輩たちは、しっかり受け止めてくれたように感じます。「母校へご恩返しがしたい」という気持ちが引き継がれる限り、どのような困難にぶち当たろうとも、解決できていると思います。

克己

他に勝たんと欲する者は、須らく先ず克己の勇氣を興起すべし。己に克つことを得ざる薄志弱行の徒は、安くんぞ能く他に勝つことを得んや。苟くも本校に就学する者は、緊禪一番、常に斯の氣を鼓舞振作することを要す。

昭和丁丑秋日

八十二翁

晩登書

(創立者 豊田太蔵先生の遺訓による)



▶現在

◀昭和44年頃

私の育英在学中の思い出の一つに、桜並木のさくらが挙げられる。そう思っている方も多いであろう。今は無き本校舎跡には、北栄町役場由良庁舎が居座っている。当時の面影はほとんどない。ただ、庁舎に続く道路の片側に桜の木が数本残っているのみだ。当時は、やっと軽自動車を通れるくらい道の両側にりっぱな桜の木が並び、春には桜花を楽しませてくれた。今の庁舎の西側駐車場には木造の校舎が数棟並び渡り廊下でつながっていた。校舎との間にはたくさん桜の木が植えられ、夏の暑い日差しを遮ってくれた。夏休みには、校舎の廊下に机と椅子を並べ受験勉強をしたことが思い出される。

いくえい
を歩く

桜並木

特集

母校が学級減

4学級から3学級へ 来春から

県教育委員会は昨年12月、2023 (令和5) 年度から青谷、岩美、鳥取中央育英の学級数をそれぞれ1学級減らす方針を決定しました。母校は普通科体育コースを廃止して普通科に統一、4学級160人から3学級120人に変更されます。

今回の学級減は、今後の県立高校の在り方に関する基本方針に基づく措置。母校については、

県中部の中学校卒業予定者数の減少や近年の定員割れ状況が理由に挙げられたそうです。

高垣知博校長に聞く

県教委の決定をどのように受け止めておられますか？

一足先に倉吉西高校が学級減となつていたり、少子化の進展、中部地区中学生の東部・西部地区への進学状況を考えたとき、そう遠くない将来、学級減の対象となることは考えていましたが、予想よりも早く、大変残念に思っています。

4学級から3学級に減ると、学校運営にどのような変化(影響)が生じるでしょうか？

一番大きいのは部活動への影響です。本校は多くの部活動を設置して、多様な活動を保障してきましたが、団体で行う部活動については、部員が減ると活動できなくなりま

県教委は、体育コースを2年次から選択するスポーツ探究類型に改編、多様な進路選択に対応して志望者数の増加を図る考えです。

母校の学級減は、2009(平成21)年度に5学級から4学級に変更になって以来、1965(昭和40)年前後は、7学級(普通科6、家庭科1)あり、生徒数は1学年で360〜370人もいましたが、人口減少とともに減少の一途をたどっています。

今回、母校と同様に学級減になった青谷と岩美の両校は、3

数も減るので、その点でも設置数を減らざるを得なくなります。教職員数減では業務や分担の見直しも求められます。ただし、入学生の一層も変化するなか、新しい教育内容に変えていくチャンスでもあると考えています。

体育コースを廃止、改編して特色化を図るそうですが、

基本であるため、入学時に体育コースを選ぶと理系(特に理系の大学)に進むという選択肢がなくなりま

した。そこで、高校入試(中学3年)の段階で自分の進路を決定するのはなく、本校入学後の1年次にしつかり目標を設定し、それに必要な学びについて考え、上級生の様子なども参考にしながら2年次からの類型を選択することとしました。

スポーツに関する学びは2年次

からになります。今までも強いの目的意識をもった学びの集団になることが期待できます。

昨年、今年の著しい定員割れの原因はどこにあるのでしょうか？

まず、かつては陸上競技を中心に、体育コース・普通コースを問わず地元からの志願者がいました。現在強化指定を受けている本校の部活動は、地元の中学校に部活動がないものがほとんどで、地元に着したものがほとんどないことが考えられます。

また、学習と部活動を両立できる生徒の割合が減り、学業や部活動以外への興味関心が強い生徒も多くなつてきています。こうしたことから、本校がきちんと学ぶことができる学校である、ということに疑念を抱かれています。

学級114人から2学級76人に変更されました。いずれも2年連続で入学者数が募集定員の3分の2を満たさなかったことが、学級減に至った理由、根拠になりました。

解説 定員割れ続けば危ない!

県立高校の在り方に関する基本方針は、今後も中学校卒業生の減少が続くなかで、2025(令和7)年までの高校再編成の基本的な考え方や施策展開の方向性を示しています。

どのような特色や魅力を持つ鳥取中央育英高校を目指しておられますか？

入学した地域の子どもたちが、本校で多様な友人や大人と交わり、多様な学びや部活動などの経験を積み、自分の豊かな人生と地域の豊かな将来を築くことができ、人間に著実に成長できる学校です。

定員割れをしない学校にするために、学校は何をされ、同窓会や地域社会はどのような協力をすれば良いでしょうか？

高校を選ぶ際に中学生は、施設の新しさ、遠くにあるといった非日常的な部分などを重んじてきており、教育活動だけで選んでもらえなくなつてきています。保護者の方々もお子さまの考えを尊重されておられ、現状を打破するのは相

それによると、1学年当たり3学級の学校については「入学者数が、2年連続して募集定員の3分の2に満たない場合は、原則として、募集定員を1学年2学級とする」と明記されています。

母校の場合、昨春に続き今春も大幅な定員割れとなり、入学者は80人前後まで落ち込んでいます。3学級(定員120人)に変更になつても、この入学者数では「募集定員の3分の2」ラインぎりぎりであり、定員割れからの脱出が急がれます。

ち向かうのに近道はありません。学校としては、生徒がきちんと目標を持ち、それに向かって力をつけ、その目標を実現していくこと、これが一番重要で

部活動でも目標設定や考えて練習ができる部員を中心に活躍が見られるようになっていきます。本校もかつては学業と部活動を両立できる生徒が多かったです。改めて原点に立ち戻ることが求められています。本校に入学すれば力が付く、部活でも充実感が得られる、進路目標も実現する、そんな学校として地域に認知されたいと考えます。

同窓会や地域の皆さまには、本校のことをよくご覧いただき、本校の取り組みに魅力を感じていただけたなら、身近なところでそれについて発信していただけると幸いです。

きょうから同窓生 今春卒業のフレッシユ会員

- ①同窓会への期待、要望
- ②後輩への一言

ワイワイ話せる場に



前田愛菜 (3A)
 ①同窓会は、昔の事を振り返ってワイワイと話せる場になりたい。

②学校祭などの行事は、高校生までしかできない事が多いので、友だちと思いつき楽しんでください。また、部活にも勉強にも自分なりに頑張つて自分の進路を見つけてください。

食事をしながら、ね



松浦舞那 (3A)
 ①みんなで食事をしながら、高校生活の思い出や色々なことを話

せるような場を設けたい。
 ②部活や勉強などたくさんしなければいけないことがあつて大変だと思うけど、頑張つ

てください。学校行事は、今しかできないことなので楽しんでください。

育英の歴史を知る場に



有澤優歩 (3B)
 ①出会の場となつて、いろんな人と話をする

ことで、育英の歴史や過去を知れたりしたりしたいと思います。
 ②部活や勉強に頑張つてほしい。そして楽しい高校生活を送ってください。あと、友達を大切にしてください。

お酒を飲む日が楽しみ



安藤有摩 (3B)
 ①20歳になったらお酒が飲めるの

で、とても楽しみにしています。
 ②勉強や部活だけではなく、色々なことに挑戦してみたい。そして、自分のやりたいこと好きなことを見つけてください。

集まりに参加したい



奥村拓巳 (3C)
 ①先輩の色々な話を聞いて、視野を広く持ちたい

と思います。案内が届いたら、ぜひ参加したいです。
 ②勉強・部活・行事など、今しかできないことを全力で楽しんで、思い出に残る学校生活を送ってください。

みんなで楽しくね



和湯なな実 (3C)
 ①全員が集まるのは難しいかもしれ

ないけれど、高校生活を振り返ったり、みんなで楽しく話したりしたいです。
 ②今しかできない事を、思い切り全力で楽しんでほしいです。自分が決めた進路に向かって、あきらめずに進んでください。

皆さんのお話が楽しみ



磯上遥也 (3D)
 ①同窓会の活動は、お酒を飲むようになったら参加してみたいです。

皆さんのお話を聞くのが楽しみです。
 ②行事を思いつき楽しんで、素敵な学校生活を送ってください。全国大会で良い成績を残せるよう、毎日の部活動に励んでください。

近況など話したい



南歌音 (3D)
 ①同窓会では、みんなで大変なこともたくさんあると思

うけど、高校生活3年間は、思ったよりすぐに終わつてしまふので、目標をもつて一つ一つの事を精一杯頑張つていきたい。

同窓会本部 支部連絡先

- ▷本部 (佐伯健二会長)
- ▷関東支部 (木村由紀雄支部長)
- ▷関西支部 (竹本紀穂支部長)
- ▷倉吉支部 (横山尚登支部長)
- ▷三朝支部 (中信貴美代支部長)
- ▷東郷支部 (山田政則支部長)
- ▷大栄支部 (田中精一支部長)
- ▷東伯支部 (伊藤喬支部長)
- ▷赤碕支部 (宇田川隆良支部長)
- ▷西部支部 (金田健司支部長)

- 北栄町由良宿291-1、鳥取中央育英高校内
- 千葉県流山市東深井885-39、染川方
- 向日市上植野町地後13-1-601、山下方
- 倉吉市福庭町1丁目532-16
- 東伯郡三朝町思地217
- 東伯郡湯梨浜町藤津214-6
- 東伯郡北栄町由良宿175-1
- 東伯郡琴浦町下伊勢527-4
- 東伯郡琴浦町赤碕1923-8
- 米子市上福原1373-8

- ☎0858 (37) 3211
- ☎047 (153) 7596
- ☎075 (935) 0053
- ☎0858 (23) 9434
- ☎0858 (43) 1098
- ☎0858 (32) 1672
- ☎0858 (37) 3751
- ☎0858 (52) 2532
- ☎0858 (55) 0604
- ☎0859 (32) 9103

近くの支部へ連絡を取って仲間に入ってください。

支部めぐり

(3)

倉吉支部

いあいこり

戸田通昭支部長からその任を引き継いで3年目となりますが、いまだ一度も支部総会を開催することができないままです。一昨年は張り切って役員会を開き、盛大にやろう！と氣勢を上げたのですが、その直後のコロナ感染拡大でした。昨年とはとも開催できる状況ではなく私の判断で、2年連続の総会中止となりました。誠に残念です。今年はどうなるか、今しばらく様子を見ながら役員の皆さんと相談して決めたいと思います。

さて、「支部めぐり」ですが、今回はスーパードレスマート総務部長として活躍の本庄克則さん(S51卒)と、マスターズ陸上選手権で現役活躍中の小林秀二さん(H1卒)に原稿を依頼しました。みなさん頑張っておられますよ。
(支部長 横山尚登)

「利他の心」を座右の銘に

本庄 克則

(昭和51年卒)

「チーン」。朝4時15分携帯のメール音がしました。こんなに朝早く起きてるのは同級生のKくらいで、何の要件だろうとメールを開いたところ、「物音がうるさくて眠れません!」。怒りマークと共に来たメールの発信元は、隣の部屋で寝ている家内からでした。

毎朝4時に起床、珈琲をたてて新聞を読み、仏壇に手を合わせて氏神様に参拝、畑で野菜作りをしてから出勤するのが40歳から続けている私のルーティーンです。この日は不覚にも階段を踏み外してしまいました。即座に打った返信メールは、「すみません」。返ってきたメールは、「そつと」として。返信不要!。

大学卒業後、鳥取銀行に33年間勤務、現在スーパードレス

マートで総務・人事・財務の仕事をしています。

銀行へ入行当初、毎日新規契約を取り続けようと決意、2年間毎日新規獲得し、8年連続表彰をしていただきました。今思えば、自分のためにしていた仕事でした。

40歳の時に大きな転機が訪れました。一部上場企業に勤めていた弟が勤務中に急死、その後数年間の母の狂ったような姿を目の当たりにし、仕事以外にも大きなことがあることに気付きました。それ以来、早寝早起きの習慣が身に付き、仕事は何のためにするのかを考えるようになりました。1つは、仕事を通して成長すること。2つは、周りを幸せにすることです。

「利他の心」「凡事徹底」は私の座右の銘です。誰にでも喜んでいただき、誰にでも出来る簡単なことを何年も毎日続けることがモットーです。自分のためにがむしやらに働いた20代、30代。仕事や社会のために働きたいと思うようになった40代以降。現在の職場では、会社の発展はもとより、お客様に毎日新鮮で安全な食品を提供し続け、600名の社員とそ

の家族の幸せのために働いているつもりです。特に、人材育成と社員からの相談事に注力しています。

昨年末には、神学の勉強がしたいと思い國學院大學と皇学館大学の大学案内を取り寄せました。地方には神主のいない神社が多くなってきました。神代の時代より地域の拠り所は神社で、神社との関わりや祭りを通して地域連携や相互扶助が行われてきました。

写真は、毎日神社に参拝しているご縁で、滋賀県の近江神宮の大祭に招待いただき、「大膳職」の大役を務めさせていただきました。

これからも一日一日を大切に、色々な出来事を楽しみに変え生活をしていきたいと思えます。末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。(湯梨浜町)

記録更新に挑戦中

小林 秀二

(平成元年卒)

由良育英高校の陸上部員だった私は、卒業後も51歳となる現在まで走り続けています。

私が高校に入学したのは、鳥取県で開催された「わかとり国体」のあった年で、先輩達はインターハイや国体で活躍するスーパースターがそろっていました。一方の私は、一生懸命練習しましたが、夢叶わず、3年間県総体で敗退してしまいました。その悔しさと「俺も全国で活躍したい」という諦め切れぬ思いをバネに、今まで走り続けて来ました。



走り続ける小林さん

お陰様で45歳の時に「全国マスターズ陸上選手権」1100メートルハードルで鳥取県新記録を出し8位入賞。昨年は中国大会で優勝することができました。今の目標は、マスターズ記録を塗り替えることと、若い選手に陸上の素晴らしさを伝えること。まだまだ走り続けます。

(倉吉支部)



滋賀県の神社でお務めした「大膳職」

若いもんには負けんぞ



横山 重彦 (倉吉市三江) 後は、海上自衛隊

(舞鶴) 8年の勤務後、舞鶴のス イミングクラブで9年、その後帰 省して現在の倉吉スイミングに27 年勤め、学生時代を含めば、約50 年間水泳だけは手放さずに向かい 合っていました。

前校長先生の宍戸靖雄氏は私の 幼い時からの親友でもありますが、一番大事な局面で幾度となく 救っていただき、本当に感謝の念 に堪えません。

今は教え子の教え子が育ち、全 国大会に向けて水しぶきを上げて おります。「まだまだ若いもんには負けんぞ！」と残りの人生を 楽しみたいと思っております。

袖振り合うも他生の縁



種子 晋司 (琴浦町浦安) 東伯中学校を 卒業して旧由良

育英に入学し、1年D組に入りま した。異彩を放つ男達がぞろぞろ いて、大変なところに入學したな と驚きましたが、にらみあつてい たのもつかの間で、1週間もしな いうちに大の仲良しになりました。 高校生活が始まりました。

育英祭では、同じクラスのメン バーでギター演奏出演。ゴーゴー

(デイスコ)で、キャロルのコピー バンドをしながら汗だくで踊った り、私生活ではバイクに乗ったり (当時は許可されていません)。現 在もお仕事、プライベートでお付 き合ってもらい有難く感謝して います。

自社開発の「あごだし」は仲 間のお世話で全国拡散中。また ガス営業で偶然訪問した事業所に 1年時のクラスメイトYさん(旧 姓)がいて、昔話に花が咲き、商 談もとんとん拍子に進みご成約。 育英繋がりが凄い。Yさんとは、息 子と、Yさんの長女がめでたく結 婚。2人ともこれまた育英卒で、 今では共通の3人の可愛い孫のお 守メイトとして楽しく過ごしてい ます。育英で袖振り合った皆さん とは最大のご縁ですね。

同級生は人生の宝



渡邊真由美 (旧姓・山下) 63歳を迎えよ (倉吉市小田)

うとしている私は、娘や孫の元氣 をもらいながらケアマネの仕事 をしています。振り返ってみると原 点は今昭和50年の春、体育館と最後 になる家政科2年生の教室が窓か ら見える1年D組にありました。

バイクが好きなT君の息子と長 女が結婚。その仲人は私の右隣席 でいつも数学の答えを教えてください たS君(宍戸靖雄前校長先生)で した。2年生では仲良くなった親

友の兄が現在の主人。3年生にな り、陸上部で活躍していたFさん (旧姓Hさん)とは、平成16年に 再会し、居宅介護支援事業所の起 業を後押ししていただいた。 還暦を迎えて始めたスイミング スクール。ここでも「キューピー」

と言えど同級生の誰でもが知って いる水泳部のベイ・シティ・ロー ラーズのレスリーこと彼が私の コーチです。 在学中に出会った同級生は私の 人生の宝です。この宝物を大切に しながらマスターズに出場する夢 を追いかけている毎日です。

人物風土記 (9)

S53 由良育英の巻 ※今回のまとめ: 宍戸靖雄氏

また飲みましょう!



美船 裕之 (倉吉市河原町) こんにちは! 皆さんご無沙汰

です。3年D組の美船裕之です。 入学当時を思い出すと、関金の 山奥から海辺の高校に倉吉線・山 陰本線を使って通うことが別世界 に行くようでとても新鮮でした し、個性的な人がたくさんいた しい3年間でした。勉強はしな かったけど。

大学卒業後は、地元の大山乳業 農協に就職し、「たくさん遊んで 仕事もしつかりする」をモットー に少し勉強するようになったの か、早めに管理職になってしまっ ました。専攻が機械ということも あり、工場の建設・機械設備導入 などたくさん関わったので充実し た仕事をする事が出来ました。 今は再雇用で、それなりに忙しく しています。

コロナが終息したら3Dの皆さ んまた飲みましょう。

若返ったのも束の間:



飛川みゆき (北栄町大倉) このところ話 題は新型コロナ

ウィルスばかり。人との交流がし にくい中、2年前還暦同窓会を開 催することができたのはラッキー でした。卒業してから40年以上 たつているのに懐かしい仲間との 語らひは、学生時代にタイムス リップし、気持ちが若返りました。

しかしそれも束の間、現実に戻 れば身体は衰え、好きだったス ポーツからも速さがりバリアフ リーでつまづくことも。そんな 時に限って人にしつかり見られて いて冷や汗ものです。現在は40年 の保育生活にピリオドを打ち、家 周りの雑草と追いかけてつこをし ています。 退職時の挨拶で「これから無期 限の産前休暇に入ります」と言っ

たものの、いつまでたつても出産 には至らず、現在も身重な体で生 活している毎日です。早く20きく らいの脂肪子を出産し、自分の思 い通りに身体を動かせるようにな りたいものです。

おかげさまで



野田 千卯 (琴浦町森藤) 母校を卒業し て早や44年が過

ぎ、先人の「光陰矢の如し」とい う言葉の意味を、今やつと理解で きる年頃となりました。 当時は(大変失礼ながら)個性 豊かなたくさんのお恩師、先輩方に 恵まれ、様々な場面で生きていく 力を学ばせていただき、おかげで 私も2年前に無事仕事に一区切り をつけることが出来ました。

在学中に勉強をした覚えは全く ありませんが、多くの仲間がそう であつたように、部活(軟式テニ ス)だけは頑張つたような記憶が あり、今もまだ懲りず、スポ少か ら中学・高校生、そして若い人た ちに手加減してもらいながら、た くさんの仲間と「ソフトテニス」 を楽しんでいます。

還暦を過ぎてなお、元気に働く ことができ、孫のような子どもた ちと白球を追ってコート駆け回 ることが出来るこの幸運は、間違 いなく母校「育英」からいただいた と本当に感謝しています。

たもの、いつまでたつても出産 には至らず、現在も身重な体で生 活している毎日です。早く20きく らいの脂肪子を出産し、自分の思 い通りに身体を動かせるようにな りたいものです。

薪ストーブライフのすすめ



津川俊仁 (S52)

還暦も過ぎて63歳。地元北栄町での田舎暮らしですが、薪ストーブライフを楽しんでいます。これがとにかく楽しい。

我が家は、アメリカ製の大型薪ストーブで、55坪の薪がすっぽり入ります。6シーズン目になりました。

春から秋にかけては薪の準備です。チェーンソーと薪割り機を駆使して木の切り出し、丸太切り、薪割り、そして薪棚に移動して蓋をかけて1〜2年乾燥します。色々な太さの薪を揃え、シーズンを待ちます。

10月には慣らし運転をして



米国製大型ストーブ

本格稼働。ほぼ毎日火を入れます。薪ストーブは、火を見ているだけでも楽しいのですが、クッキングも楽しめます。ピザ、アップルパイ、チョコブラウニーを焼き、ダッチオーブン料理、ポップコーンもできます。焼く、煮る、蒸す料理は何でもOK。そして暖かい。部屋全体が衣服の乾燥機にもなり、やかん+煙突+加湿空気清浄機の出来上がり。おかげで、風邪知らずに。

5月には煙突掃除をして時期に備えます。煙突の煤(すす)の状態で使い方の良し悪しや出来が分かるので、その作業も楽しいのです。

ストーブの炎や薪の話を話すのも楽しいです。よく「薪の調達はどのようにするのか」と聞かれます。「庭木を整理して使わない？」と声をかけてもらうことが多く、「それで十分賄えます」と答えています。

こんな楽しい薪ストーブライフを、一緒に楽しみませんか。

(北栄町議会議長 大栄支部)

西から東から〜会員は今

3回目の成人式を通り過ぎて



福田茂樹 (S52)

大学時代まで、スローペースの生活を過ごしてきた。卒業とともに、三朝町に帰って来た。そして、家業に専念。1年を過ぎたとき、私の人生が大きく変わった。元氣だった父親が急に倒れ、天国に旅立ったのだ。20代で、全速力で走る人生がスタートをした。30代で結婚、おかげで4人の子どもに恵まれた。

辛い練習に耐えた

だから逃げない自分がある



畑田宥博 (S61)

私は、赤碕支部の事務局を担当しております。2、3年前からコロナ禍の影響で、同窓会が開催できず寂しさを感じております。皆さん元気にしていますか。自分たちを取り巻く環境が、こんなに変化し何時どこで何が起きてもおかしくない状況に恐れを感じます。

年をとったせいなのか、最近昔のことをよく思い出します。特に高校時代でしょうか。入学し硬式の野球に出会い、また、野球部なのに陸上部に

40代で、三朝町の町議会議員になり、地域のために尽くす日々。50代で、一発奮起して、鳥取マラソン(42.195km)に挑戦。10年連続で完走。年間フルマラソン2本、ハーフマラソン2本。現在、新型コロナウイルス感染症拡大により全休中です。

60代で、三朝町の商工会長に役を受け、温泉地を抱える商工会のあり方を模索中。あわせて、コロナ感染症により影響を受けている事業者のサポートに全力を傾けています。そして、5期つとめた町議会議員卒業。(元中部ふるさと広域連合議会議長 三朝支部)

かり出され由良育英Bチームで米子鳥取間駅伝に出場し、三朝町の心臓やぶり6km区間を走ったこと。部活動での厳しい練習。3年生になり最後の高校野球鳥取県大会でベスト8まで勝ち上がったことなど、良いことは、あまり覚えていないものです。でも、現在、仕事などで辛いことがあっても、あの当時、厳しい練習に耐えたことで、乗り越えることができる今の自分があることに、心より感謝しております。

在校生の諸君！「克己」の意味を忘れることなく、自分を信じて突き進んでください。陰ながら応援しています。

最後になりますが、コロナが落ち着きましたら同窓会を開催いたしますので、皆さんの参加をお待ちしております。(赤碕支部)

母校、地元へ恩返し



生田貴裕 (H14)

全国大会をピンクのユニフォームで走ることを夢見て、陸上漬けの毎日を送りました。

インターハイ・国体で仲間が大活躍する一方、私はいくら頑張っても結果の出ない日々…。頑張るほど故障・貧血に悩まされ、中学の記録すら更新できないまま3年間で終わりました。

卒業後は神奈川に渡り、鍼灸・トレーナーの資格を取得。選手を支える立場で15年間働き、今は地元琴浦町で鍼灸院を開業しています。

患者さんと向き合う時、仕事でうまくいかない時に、寄り添う心、折れそうになる弱い心を「根っこ」で支えてくれるのは、苦しくも努力を続けた3年間の日々です。

芽も出ず花も咲かない高校生活でしたが、今は、その分深く根を張れたのだと思えます。卒業から20年たった今、あらためて感謝し、母校に地元にも少しでも恩返ししたいと考えています。(東伯支部)

アフターコロナを見据えて



西田雄二 (S53)

私は、鳥取県観光事業団で県立観光施設を管理運営する仕事に従事しています。家族や仲間及び多くの関係者の皆様に支えられながら現在は、鳥取砂丘こどもの国を任されています。こどもの国は、明治百年を記念して1973年、県を代表する観光地の鳥取砂丘の中に設立されました。

令和5年5月、開園50周年を迎えます。従来の事業に加え、新遊具の設置や記念イベントなどの充実を図り、さらなる集客に努めてまいります。しかし、現況は、新型コロナウイルス感染拡大により、2年以上にわたる観光業は大打撃を受けて、今なお観光需要回復の先行きは依然として不透明であります。

高校3年間は、バスケット部に所属し、苦しい時にも楽しい仲間達とともに一緒に乗り越えてきました。今の苦しい状況下でも支えてくれる素晴らしい仲間達に感謝しています。同窓生のみなさんも安全、安心、清潔をキーワードに新しい生活様式に沿ったウィズコロナの生活を送ってください。

(湯梨浜町田畑)

会員は今、西から東から

映像制作やってます



伊藤 亮 (S51)

買い集まっている姿がブラウン管に映し出されていた。

一方、そこはかとなく自由のんびりとした校風が自分には合っていた。勉強に勤しむわけではなく、時には授業を抜け出して図書室にお茶や珈琲を飲みに行つて談笑したこと。図書司書の「ゆみさん」元気かなあ！ 色々お世話になりました。

卒業してはや45年。由良育英に入学した昭和48年、日本は第一次オイルショックの真つただ中。多くの主婦達がこぞつてスーパーやデパートにトイレットペーパーを

列車通学のため、ほとんど線路沿いからの登下校でしたが、正面玄関からの桜並木はきれいで、また、それ以上に初秋の枯れ葉散る情景は、ノスタルジックで当時か

ら自身の心に残っています。

現在は鳥取県に戻り、TV番組・TVCMなど映像制作を現役で続けていますが、NETへの移行を図りつつ昨年9月にユーチューブチャンネルを開設しました。

チャンネル名はTHE WINDS OF JAPANです。懐かしい日本の百年前の童謡・唱歌などをグラスベル音を使って編集したものや、ASMR環境音として日本の緑の秘境や原風景を4K画像でアップロードしております。

一度見ていただければ大変嬉しく思います。これからも順次新たに公開する予定ですので、よろしくお願いします。(西部支部)



藤原智美(旧姓・小川) (S61)

東京五輪夢の審判員に

2021年夏、東京オリンピック、パラリンピック陸上競技の投てき審判員として従事する機会を与えていただきました。2020年新型コロナウイルスが猛威を振

るい、オリンピック史上初の延期、開催の是非が問われるなか、これも史上初の無観客開催となりました。

私たち審判員も毎日PCR検査が義務づけられる状況下、開催期間は夢のように過ぎていきまし

た。オリンピックスタジアムの厳かな雰囲気と、審判員としての責任の重さに緊張は極限に達しましたが、世界のトップアスリートたちの真摯な姿は感動の連続でした。

選手たちは、競技が終われば「ありがとう」と日本語でお礼を言ってくれ、グータッチをして健闘を讃え合いました。世界各国から集まっている選手や審判員、言葉は通じなくても心は通じ合うと感じることができました。生涯忘れることのできない、充実した時間でした。

(兵庫県西宮市在住 関西支部)

宮城県へ縁を結び43年



熊本(家森)俊龍 (S46)

如月の節を迎えてもまだまだ寒さ厳しい今日この頃です。母校を卒業して早や半世紀を過ぎました。実家(大山町)が曹洞宗の寺院ということもあり、大学、大学院修士課程、本山の修行を経て現在(宮城県遠田郡美里町)のお寺へ縁を結んで43年目になります。

当地は県の中心部であり平野部で、おいしいお米の産地です。11年前の大震災の時は津波の被害はなかったけれど建造物の倒壊等大変な思いをいたしました。

冬は寒いです。大雪はいけど夜は連日氷点下です。敷地内に畑があり、平素お勤めの傍ら農作業しながら自然界の恵みをいただいております。

コロナ感染症の収束を願い、自愛しながら、あたりに配慮出来るように今後過ごしていけたらと思っております。(興安寺前住職 関東支部)

(興安寺前住職 関東支部)

「同窓生美術展」開催

令和3年11月22日～26日 豊田記念会館



にぎわう会場



鑑賞に訪れた大栄中の生徒たち



▲南場兄一さんによるギャラリートーク



▲開会式で挨拶する佐伯同窓会長

第6回鳥取中央育英同窓生美術展が、晩登会と実行委員会の主催により昨年11月22日から26日まで、母校豊田記念会館で開催されました。鳥取県内で活躍する卒業生と在校生計27人の作品約50点のほか、仏師の故山本竜門さんの遺作が展示され、多くの人でにぎわいました。

第6回 鳥取中央育英同窓生美術展 出品目録		
氏名 (雅号など)	卒業年	部門と題名など
南場 優	昭29年	洋画「カルガモの親子」
大嶋 清美	昭31年	洋画「赤碓港の朝」
関口 明子	昭33年	洋画「人」
早川 玲子	昭34年	洋画「花と器」「フェイジョアー」「鶏頭」「七類港」
南場 兄一	昭40年	洋画「雪の花見湯」
佐伯恵美子	昭44年	洋画「夏の終わり」「大山晚秋」
横山 尚登	昭49年	洋画「静謐な時間」「千年の桜」
山下 聖二	昭52年	洋画 刻「予感」2020
門脇 博	昭55年	洋画「何処へ」
森井 裕子 (蔵りすと)	昭56年	線細ペン画「河本家住宅」「伊根の舟屋」 「琴浦のかやぶき」
穂山つや子	昭34年	日本画「鮮光黄」
松井 清貴	昭44年	彫刻「コウヤ豆腐 由良育英校章」 「コウヤ豆腐 寿」「鯛ひれかざり」 「一期一会」
永江 靖幸	昭61年	彫刻「水の詩」
徳岡 大勝	昭35年	工芸「光筒」「灯籠」
吉本千寿子	昭36年	書道「杏」
石賀 良子	昭51年	書道「壽」
永代 綾子	昭51年	書道「枕草子より」
山田 美鈴	昭58年	書道「芭蕉句」「会津ハ一うた」
倉本 杏音	在校生	書道「饗宝子碑」
足羽 遙妃	在校生	書道「孫秋生造像記」
山根 茅乃	在校生	書道「放哉の句」
田中 洋一	昭35年	写真「朝市のひと」「ひと休み」「願いごと」
田中 賢治	昭39年	写真「十五夜の家路」
井上 英明	昭41年	写真「無題」
徳永 泰子	昭32年	絵手紙「夏から私へ」「私の人生感」 「差上げたいもの」
高塚 俊蔵	昭41年	手ぬぐい・切絵「葦原神社の大注連縄」 「コトウラニ舞フ」
岡本 亘	昭55年	トーチ・パネル「東京オリンピック聖火トーチ&パネル」
青山 剛昌	昭57年	コナングッズを実家からお借りして展示
山本 竜門	昭34年	



▲開幕に駆け付けた同窓生

同窓生美術展

山本竜門 遺作展コーナー



原偉夫さん所蔵「焼杉彫刻」
三浦偉俊さん所蔵「不動明王像」など
計21点を展示



▶NHK・Eテレ「こころの時代」
のDVDの放映も



第6回同窓生美術展においては、実行委員の総意にもとづいて特別展示「竜門さん（山本紀康氏）の遺作展コーナー」を企画しました。

竜門さんは本名・山本紀康。昭和31年に由良育英高校に入学し、終生恩師と仰いだ酒井忠雄先生と多くの知己の学友と出会う。34年3月に卒業するが、その3年間の貴重な縁に恵まれた竜門さんは詩集『上丹生』と数多くの彫刻を遺した。とくに木彫の焼杉彫刻や仏像は同窓生に親しまれ、引き取られた。

このたびの企画展にはそれらの作品の展示とNHK・Eテレの「こころの時代」のDVDを放映するなど、竜門さんの業績を偲んでいただいた。「こんな展示は二度とできないだろうから」と二度までも来場して鑑賞された方もあり、その姿が強く印象に残りました。

なお、竜門さんは倉吉の3仏師の1人として地域の文化活動に貢献した実績を認められ、令和2年度鳥取県文化功労賞を授与された。令和3年4月に他界。享年81でした。

(実行委員会事務局長 南場兄一)



▲焼杉彫刻

令和3年度部活

(9~2月) (掲載は主な大会における県大会・中国大会入賞・全国大会出場としました)

陸上部

□第64回県高校新人大会

◇男子

▽100m=③植松瑞希④川本玲央
⑧小野颯己▽200m=③植松瑞希
④井上詞倭▽400m=②井上詞倭
③岡田智哉④石川遥斗▽400mH
=②谷本海▽走り幅跳び=⑤
諸遊慎武▽4×100mR=②(小
野、植松、川本、谷本)▽4×
400mR=①(佐藤、石川、岡田、
井上)

◇女子

▽100m=①亀山うらら④野津
七海▽100mH=①福嶋ひなた▽
走り幅跳び=⑤西尾心優▽4×
100mR=②(野津、福島、西尾、
亀山)

□第30回中国高校新人選手権大会

◇男子

▽100m=⑦植松瑞希▽400m=
④井上詞倭▽4×400R=①(佐
藤、石川、岡田、井上)

◇女子

▽100mH=①福嶋ひなた

□U16U18陸上競技大会

◇男子

▽150m=⑤井上詞倭

水球部

□第97回日本選手権水泳競技大会
水球競技最終予選会

◇鳥取中央育英14(2・3・2・
5-4・2・4・2)15明大中野(東
京都)

◇PSO(2-3)1回戦敗退

レスリング部

□県高校新人戦

◇学校対抗戦=①

◇個人対抗戦

▽51kg級=①小竹良実
▽55kg級=①堀本健斗
▽60kg級=①朝倉輝輝
▽65kg級=②磯江大地
▽71kg級=①和湯瑛希
▽80kg級=①松村康平
▽92kg級=①芝光琉
(全国高校選抜大会 出場決定)

バレーボール部男子

□全日本高校選手権大会県予選

◇準決勝=鳥取中央育英2(22-
25、25-20、25-16)1鳥取工業
◇決勝=鳥取中央育英3(25-23、
25-13、25-20)0米子工業
※5年連続5回目の優勝

□全日本高校選手権大会

(5年連続5回目の全国大会出場)
◇1回戦=鳥取中央育英0(19-
25、18-25)2仙台商業(宮城)

▶春高バレーで大健闘(日本海新聞)

鳥取育英 敗退も手応え



ソフトボール部

□県高校新人大会=①

(全国高校選抜大会 出場決定)

山岳部

□SCJTスポーツクライミング・
ジャパンツアー2021スピード第
1戦

◇女子スピード=②多月萌々菜

□SCJTスポーツクライミング・
ジャパンツアー2021スピード第
3戦

◇女子スピード=①林かりん
⑥多月萌々菜

□スポーツクライミング第7回ボ
ルダリング・ユース日本選手権
倉吉大会

◇男子ジュニア=⑫高眞颯太
◇女子ジュニア=⑮秦野由羽
◇女子ユースA=⑱林かりん
⑳多月萌々菜

□全国高等学校スポーツライミ
ング選手権大会

◇男子リード=⑫高眞颯太

◇女子リード=⑳林かりん
㉓多月萌々菜

新聞部

□県高校新聞コンクール

◇優秀賞(第46回全国高校総合
文化祭東京大会出場決定)

書道部

□第41回近畿高校総合文化祭滋賀
大会

◇出場=山根茅乃

□第53回県高校書道展

◇連盟賞(第42回近畿高校総合
文化祭和歌山大会出場決定)=
山根茅乃

美術部

□第41回近畿高校総合文化祭滋賀
大会

◇出場=長谷川万桜、前美里

□令和3年度第36回県高校総合文化
祭美術・工芸展

◇連盟賞=長谷川万桜



▲県中部地区高校美術展(日本海新聞)

母校からの便り

インタビュー

男子バレーボール部

主将 岩垣 大地

5年連続で出場した春の高校バレーは、初戦敗退となりました。チームの目標を達成させる最後の大会であり、インターハイでの悔しさを晴らすため、今まで以上に闘志を燃やして挑みました。自分たちのバレーを最後まで発揮できず残念でしたが、この思いは後輩に託します！応援ありがとうございます

ソフトボール部

部長 槻村 快

コロナ禍で、なかなか練習が積めない状況での県新人戦でし

令和4年春進路

今年度は大学入学共通テストが予想どおり難化しましたが、共通テストを活用した受験で合格する現役生徒が国立大学2名を含め昨年より多く、最後まで粘ったことが好結果に繋がりました。また、総合型選抜や学校推薦型選抜の開始が早まり、私立学校を中心に募集人数も増えてきている中、早期に進路志望をして準備を進めた生徒が順調に進路決定できたケースが多くありました。(進路指導主事 金森一途)

▶共通テスト激励会



▲県新人戦で優勝したソフトボール部

た。関係プレーがうまいかいない試合でしたが、なんとか優勝することができました。保護者の方や先生方のサポート、マネージャーの力があってこそ優勝だったと思います。団体競

2021年度合格者数 ※延べ人数 (3月17日現在)

- 【国公立大学】7名=鳥取大学・島根大学・徳島大学・公立鳥取環境大学・岡山県立大学・周南公立大学・山口東京理科大学
【私立大学】70名=鳥取看護大学(3)・千葉工業大学・日本大学・日本体育大学(3)・龍谷大学(3)・大阪経済大学など
【短期大学】20名=鳥根県立大学短期大学部・鳥取短期大学(14)など
【医療系専門学校】25名=県立倉吉総合看護(2)・県立鳥取看護・鳥取市医療看護(10)・YMCA米子医療福祉(4)など
【各種専門学校】28名=日本海情報ビジネス(2)・鳥取社会福祉など
【就職】32名
(公務員)23名=鳥取県警察(2)・自衛隊(21)
(民間事業所)10名=寺方工作所・倉吉信用金庫・エースパックなど

陸上部 福嶋ひなた
自分より速いタイムを持つ人

レスリング部 部長 小竹 良実
県新人戦が終わり、本来なら中国選抜大会に挑むはずでしたが、コロナウイルスの影響で大会が中止になってしまいました。とても悔しい思いをしました。ですが、3月に全国選抜大会開催が決定し、個人戦・団体戦ともに部員全員が出場できるので、先輩方のように全国の大舞台で入賞できるチームを目指し、全力で試合に挑みたいと思います。

書道部 部長 山根 茅乃
近畿高等学校総合文化祭滋賀大会に出場することができて、とてもうれしかったです。大会に向けての作品制作では文字の潤渇や筆脈を意識して書きました。滋賀大会の交流会では、ろう書きが印象に残っています。また、他県の高校生の作品を見ると、文字に躍動感があり、筆

たちがいる中で、目標としていた13秒台を出し、大会新記録で優勝できたことは、自分にとって自信につながりました。また、いつも支えてくださっている方にも良い形で感謝を伝えられたと思います。今シーズンには、まず初戦から流れをつくつていき、インターハイで悔いの残らないレースができるように、常に陸上について考え、自分に厳しく頑張ります。

北栄町高校生議会
地域探究活動で学んだことをもとに北栄町に質問、提言するため2年生17名が高校生議員として出席しました。スポーツ指導者養成、地域産物を学校給食に、関係人口増加の現状、動物愛護活動の提案など様々な分野の質問を北栄町長、教育長に投げ掛けました。自分たちも町づくりの担い手になれるんだと気づき、将来の自分の生き方を考える時間となりました。



▲北栄町に質問、提言する生徒たち

北栄町高校生議会
近畿大会に出場した山根さん



を巧みに使っている作品が多くありました。今後は、自分もそんな作品が書けるように努力したいです。

同窓会活動協力金寄付者一覧

(令和3年7月26日～令和4年2月28日)

- S20 太田隆光 伊田美和子 垣治郎 竹中由右子 井上康
- S21 龜山寿雄 S22 種子真一 裕 菊井澄男 仲倉洋子 馬
- S28 川上祐一 西東徳雄 中 野博志 長尾麻里子 山本章
- 野博保 S30 竹信武 S31 森 則 野口ひろ恵 町田貴子
- 田秀雄 朝倉津奈子 有福上 木本準一郎 松井清貴 S45
- S32 田中鍛 S33 梅田三喜 平野宏幸 田中一朗 近藤敏
- 子 村岡洋次 石田裕通 吉 夫 幅田佐美子 S46 赤川勲
- 良宣彦 石川郁子 岡田正記 永 中瀬富子 岡田茂実 黒
- S34 森本紀紘 戸田通昭 山 田俊一 前畑宏志 福田恭子
- 根弘康 岡本政孝 山村鉄郎 四門隆 岡本恒之 S47 篠
- 伊藤博 今西玉江 中原正 原真智代 黒松悟司 井上泰
- 桑田紀代 柴垣久美子 上山 子 椿千枝美 金田健司 白
- 寛光 植田紀久枝 相見楓子 髪智文 S48 中前雄一郎 種
- 信田昭弘 佐渡本多津恵 福 子俊彦 田中清治 S49 谷口
- 光正子 福光則芳 黒川里津 千鶴子 生田香津美 宇田川
- 子 前田廣行 大谷道江 豊 隆良 S50 永岡幸光 菅原久
- 嶋賢二 江崎寿雄 S35 徳岡 宗 茂住豪一 那須一仁 岸
- 大勝 山根邦重 大田操 S 澤紀子 長原秀暁 吉村賢一
- S37 流田正義 天野敏光 S38 S51 本庄克則 伊藤裕章 小
- 木下博夫 馬淵義則 紙徳豊 松弘明 S52 出西善美 竹中
- 朝倉直之 木村由紀雄 松本 哲喜 岸本哲也 S53 中本公
- 幸雄 斉藤俊子 S39 岡田信 人 倉繁良文 宍戸靖雄 田
- 吾 大西幸江 森野幸子 杉 中博幸 S54 竹安修 稲毛靖
- 原憲靖 橋本壽久 佐伯佳子 門脇博 S55 石田知己 S56
- 西澤功 橋本和男 S40 矢田 高橋義博 伊達浩二 原田昌
- 陸子 平井隆 徳田正 藤田 和 S57 齋尾紀幸 村岡亜
- 明 山口稔 S41 高塚俊蔵 樹 S58 竹内善一 吉川幸
- 杉山京子 高力賢一 井中信 之助 S59 米田欣司 S60
- 一 吉井健児 飯田正征 杉 盛山剛 浅田隆 S61 松村成
- 信民子 西澤智恵子 御古孝 喜 眞山隆博 S62 鳥飼敏博
- 行 中村恵子 染川磯一 伊 S63 大前直美 細田智義 H
- 藤正子 山口悠紀子 山崎盈 1 妙泉司 横山演章 H2 山
- 二 S42 那須典久 高田博正 根隆治 安谷忠浩 倉本秀樹
- 矢積輝幸 中井知子 竹本紀 堀尾和宏 堀尾和恵 H3 真
- 穂 灘本憲夫 S43 高尾敏 也加玲世 H4 中原大輔 H
- 雄 宮尾由紀子 高尾くみ子 11 秋山佳栄 H12 佐々木裕介
- 八幡伸八 吉賀洋二郎 福嶋 泉竜治 H13 中原浩之 H17
- 保久 鈴木伸子 磯江美代江 徳田哲也 H27 足立由真 R
- S44 西本美紀 篠原重義 今 2 坂口佳久 卒業生以外伊東
- 出富美江 森山孝志 福井敏 秀子
- 光 堀ちづる 行成久子 濱

同窓会入会式を挙行

同窓会入会式が2月28日(月)、母校小体育館で行われまし
 した。写真。佐伯健二同窓会
 長が挨拶のあと、入会記念品(学
 校新聞縮刷版)を卒業生へ贈呈。
 卒業生144人は、同窓会(愛
 称:晩登会)の会員となります。

佐伯会長の挨拶要旨

「応援される側から、する側に」
 私たち鳥取中央育英同窓会
 は、お互いの親睦を深めること、
 母校の発展を支援すること、こ
 の2つの目標を規約に定めて活

動をしています。

昨年、同窓会は「晩登会」と
 いう愛称を名乗るようになりました。
 「晩登」はこの学校の創設
 者、豊田太蔵先生の雅号です。
 豊田先生の晩登精神を思い起こ
 し、同窓会活動も母校の発展を
 支援する、原点に戻すことにし
 ました。

具体的には、本年度から「晩
 登会奨学金支給制度」をスタ
 トさせました。大学へ進学する
 卒業生を経済的に支援する取り
 組みです。

育英という学校は、貧しくとも志のある生徒を支援し続けて

きた誇らしい歴史を持っています。

私も高校を卒業し、進学準備
 していたころ、ある先生から思
 わぬ支援を受けました。「生活
 するところは決まったか？俺
 が下宿していたところを紹介す
 るから、お前も世話になれ」と。

担任でもな
 い先生でし
 たが、とて
 も親身に接
 していただき、
 き、その感
 激は今も心
 に残っています。



ます。私たちの学校は、生徒を大事にする学校です。

皆さんは卒業すると、ただち
 に同窓会の一員になります。な
 ぜかと言うと、卒業と同時に、
 同窓会費を支払うからです。

同窓会には母校を応援する大
 きな役割があります。つまり、
 皆さんは卒業と同時に、応援さ
 れる側から応援する側に回るの
 です。先生や友達からもらった
 良い思い出、感謝の心を、今度
 は返す番です。

同窓会の集まりに参加し、互
 いの親睦を深め、母校の発展を
 応援していきましょう。(了)

▽プレゼント情報△

同窓会報の感想や、同級会、
 クラス会などの情報を郵送ある
 いはファクスで寄せてくださ
 い。毎回10人の皆様に「あご入
 り鯉ふりだ
 し」セット
 をプレゼント
 トします。
 (株)ハイセ



イ(琴浦町、種子晋司社長) S
 53卒)の提供です。5月末まで
 に、同窓会事務局へ寄せてくだ
 さい。形式は問いません。

〒689-2295 北栄町由
 良宿291の1、鳥取中央育英
 高校内、晩登会事務局
 ☎ 0858(37) 3211
 FAX 0858(37) 3212

編集後記

会報の記事を集めるため、今
 度も各支部長さんにお世話に
 なった。投稿願った同窓生も含
 め感謝です。おかげで、各方面
 より原稿が集まり、紙面を飾っ
 て頂いた。

本号の特集「母校が学級減」
 母校の現状・今後の方向性につ
 いて校長先生にインタビューし
 た。同窓生の皆様にも現状を
 知って頂きたく載せた。

生徒の少ない中、母校を存続
 意義のある高校にしなければな
 らない時に来ている。(前田)